

死臭 腐敗臭 放置ゴミ臭 完全消臭

品 名 LLST-100（1液） LLST-200（2液）
死臭・腐敗臭を1液と2液により徹底消臭します



製品説明

用 途 死 臭 の 消 臭 ： 孤独死などにより発生する強烈な死臭・腐敗臭の消臭
放 置 ゴ ミ 臭 ： 遺品整理現場・ゴミ屋敷などから臭う生ごみ腐敗臭・タバコ臭・ペット臭
動 物 死 臭 ： ネズミなど小動物の死臭・排水溝の臭い等
他 ： 斎場などの遺体安置場・ご遺体保全時
対 象 臭 気 ： カダベリン・プトレシン・イソ吉草酸・プロピオン酸・硫化水素・酪酸
ノネナール・メチルメルカプタン・アンモニア・トリメチルアミン
3-エテニルピリジン等

使 用 方 法 1 液、2 液を順番に塗装

- ①カダベリン・プトレシン等の消臭：LLST-100（1液）を使用
原液を臭いの発生源に塗装浸透させ乾燥。
2～5倍水希釈液で発生源周辺および壁、天井などに塗装。
- ②酪酸・イソ吉草酸・硫化水素等の消臭：LLST-200（2液）を使用
原液を臭いの発生源に塗装浸透させ乾燥。
2～5倍水希釈液で発生源周辺および壁、天井などに塗装。

*悪臭の強度により液剤の希釈率や塗装量をご調整ください。

（注）詳しくは「死臭消臭剤 施工マニュアル」をお読みください。

*LLST-200：使用前に良く攪拌してください

：施工後アルコール臭がしますが3～4時間で無くなります

：塗布乾燥後、白色粉体が出現します。乾拭き・水ぶきで拭き取れます。

■詳しくは「死臭消臭剤 施工マニュアル」をお読みください。

塗 装 用 具 ・塗装具：スプレーガン・電動スプレーガン・モケット モップ
・刷毛、デッキブラシおよびハンディデッキブラシ

消臭効果評価

LLST-100

	カダベリン	プトレシン	イソ吉草酸	プロピオン酸	酢酸	硫化水素	ノネナール	メチルメルカプタン	トリメチルアミン	酪酸	3-エテニルピリジン等
	死臭	死臭	強い酸臭	酸っぱい焦げ臭	汗臭	腐った卵臭	腐ったチーズ臭	腐ったタマネギ臭	腐ったサカナ臭	銀杏の熟した臭い	タバコ臭
直後	0	0	4	0	2	0	2	0	0	2	3
30分後	0	0	3	0	1	0	1	0	0	2	4
1時間後	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	4
3時間後	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3

LLST-200

	カダベリン	プトレシン	イソ吉草酸	プロピオン酸	酢酸	硫化水素	ノネナール	メチルメルカプタン	トリメチルアミン	酪酸	3-エテニルピリジン等
	死臭	死臭	強い酸臭	酸っぱい焦げ臭	汗臭	腐った卵臭	腐ったチーズ臭	腐ったタマネギ臭	腐ったサカナ臭	銀杏の熟した臭い	タバコ臭
直後	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30分後	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1時間後	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3時間後	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	5	4	3	2	1	0
臭気度	強烈	強い	楽に感知できる	何の臭いか判る弱い臭い	やっと感知できる臭い	無臭

LLST-100・200の消臭メカニズム

<LLST100>

有効成分ピロリジン化合物はカルボン酸と反応する性質を持っています。
また、ピロリジン化合物がエステル化した成分は1級アミンと反応します。
本剤はピロリジン化合物の他、予め適量の不揮発性のカルボン酸を添加しており、ピロリジン化合物とカルボン酸がエステル化した成分が混在するよう調整しています。
よって、余剰のピロリジン化合物により酪酸、イソ吉草酸を補足し、ピロリジン化合物のエステル化した成分によってカダベリンやプトレシンなどの1級アミンを補足することを可能にしています。

<LLST-200>

酪酸、イソ吉草酸は有効成分アルコール化合物（不飽和3級アルコール）の作用によってエステル化することで補足・除去されます。
2-ノネナールは有効成分のアミノ化合物の作用により、カルボニル基がアミノ基によって補足・除去されます。
硫化水素は本剤に含まれる亜鉛化合物によって補足・除去されます。

技術資料

LLST-100		LLST-200	
GHS	注意喚起語 なし	GHS	注意喚起語 危険 
形状	液体	形状	液体
色	薄黄色透明	色	白色（上層に透明層分離）
臭い	微臭	臭い	特有臭
主成分	ピロリジン化合物・精製水・他	主成分	アルコール化合物・亜鉛化合物・精製水
不揮発分	<60%	不揮発分	<55%
pH	4～6	pH	<9.5～10.5
溶解性	水に溶解	溶解性	水に混和

保管方法:	冷暗所で保管
注 意 点:	作業時には適切な呼吸用保護具および眼用保護具の併用保護手袋、保護衣を着用すること 液温が上昇する事でガス発生による容器膨張の場合はキャップをゆるめガスを抜いてください 使用前に良く攪拌してください

この技術データは弊社ラボにおける信頼できる実験によるものですが、絶対的なものとは言えません。
従って御試用に際しては、御社の使用目的、条件に適合するか否かを事前に充分にご検討ください。

グラフトン株式会社

〒156-0097 東京都世田谷区用賀4-11-14-3F TEL03-6413-4766 FAX:03-6413-4737
<http://www.grafton-gr.com>